

中学校1年生から高校1年生相当の年齢の女子を対象に 子宮頸がん予防ワクチンの費用を 全額助成します！



広島市では、平成23年1月17日から、広島市にお住まいの中学校1年生から高校1年生相当の年齢の女子を対象に、子宮頸がん予防ワクチンの接種費用の全額助成を行います。（この制度は平成24年3月31日に終了します。）

助成の対象者は？

広島市にお住まいの
中学校1年生～高校1年生相当の年齢の女子
平成22年度対象：
平成6年4月2日～平成10年4月1日生まれ

どこで接種できるの？

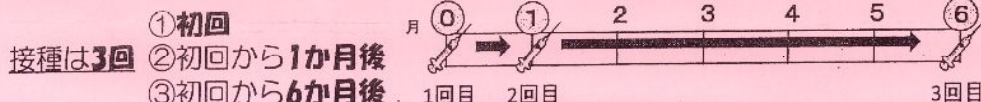
広島市内の医療機関
(小児科、内科、産婦人科など)
※事前に医療機関に「広島市の子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成対象であること」を伝え、**予約をして**接種を受けてください。

医療機関に持っていくものは？

- ①年齢、住所を確認できるもの
- ②母子健康手帳（あれば）
- ③**予防接種済証**
(2回目以降の接種時から必要です)
(接種時に、医療機関で発行しますので、大切に保管して、次の接種時に持ってきて下さい。)
- ④保護者が記入した**同意書・予診票**
(保護者が同伴できない時)



接種方法は？



接種は**3回**です！
スケジュールを管理しましょう！

高校1年生相当の方は平成23年3月31日までに1回以上の接種を！！

接種を希望する、**高校1年生相当の年齢の方は、平成23年3月31日までに必ず1回以上の接種を受けてください。**
現在、**高校1年生相当の年齢の方は、平成23年3月31日までに1回以上接種を受けた方**でないと、**平成23年度(高校2年生相当の年齢)の接種費用は助成の対象になりません。**
(子宮頸がん予防ワクチンは接種完了までに6か月必要です。)

接種の注意点

- ・子宮頸がん予防ワクチンは、予防接種法に基づかない任意の予防接種です。効果と副作用をご理解いただき、医師と相談した上で接種を受けてください。
- ・接種後はしばらく安静にする必要があるため、時間に余裕のある日に接種を受けてください。
- ・妊娠している方、又はその可能性のある方は接種できません。

保護者の同伴は必要？

子宮頸がん予防ワクチンを受ける時は、原則として保護者の同伴が必要です。
ただし、同意書によりあらかじめ保護者の同意が確認できた方は、保護者の同伴は必要ありません。同意書及び予診票は広島市ホームページ「子宮頸がん予防ワクチンについて」からダウンロードできます。また、接種を受ける医療機関及び保健センターでも受け取ることができます。同伴しない場合は、同意書・予診票にあらかじめ必要事項を記入の上、接種当日は医療機関に必ず持参してください。

～ご不明な点はお住まいの区の保健センター（健康長寿課）へお問い合わせください～

中保健センター 504-2528	西保健センター 294-6235	安芸保健センター 821-2808
東保健センター 568-7729	安佐南保健センター 831-4942	佐伯保健センター 943-9731
南保健センター 250-4108	安佐北保健センター 819-0586	保健医療課 504-2622

広島市外にお住まいの方は、お住まいの市町の予防接種担当へお問い合わせください。



子宮頸がん予防ワクチン
接種費用助成のお知らせ